

令和6年度 狭山市立西学校 学校関係者評価表

- ※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価する。
- ※ 【学校自己評価の目安】
- A：よくできている。
  - B：概ねできている。
  - C：あまりできていない。
  - D：できていない。

| 領域     | 番号 | 評価項目                                 | 学校自己評価 |    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 学校関係者評価委員から                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------|----|--------------------------------------|--------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|        |    |                                      | R6     | R5 | 説明                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 評価(文章表記)                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 学校運営全般 | 1  | 学校の重点目標が明確である。                       | A      | A  | ・学校教育目標に関連する項目について、教職員、生徒及び保護者の評価結果は高い数値を示しているが、学習に関する目標については保護者からの評価が前年度より4ポイント以上低く、学校及び家庭での学習への指導・援助について検討の必要がある。<br>・清掃については、2・3年生には無言清掃の取り組みが定着している。1年生の評価が低いので、清掃の意義についても考えさせ、改善を図りたい。<br>・校内の安全点検にICTを取り入れ、報告や集計の利便生の向上を図った。しかし、施設や設備の老朽化が進み、今年度も修繕が追いつかない状況が続いている。限られた予算を有効に活用して生徒の安全と学習活動を保証するため、優先順位を決め、計画的に学校を整備する必要がある。                              | ・各項目において学校全体の評価が高く、生徒は安心して学校生活を送れている。教職員一人一人の高い意識が集結され、チーム・組織の対応も明確。全職員による共通した指導・取組が行われていることは、安心・安全な学校である。<br>・1年生の評価が低下。学年が変わって改善するのか、この学年特有なのか、継続的な調査が必要である。                                                                                                |
|        | 2  | 生徒は、学校生活が楽しいと感じている。                  | A      | A  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | 3  | 教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。               | A      | A  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | 4  | 清掃が行き届き、学校がきれいである。                   | A      | A  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | 5  | 学校の施設・設備は安全に管理されている。                 | B      | B  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 学習     | 6  | 教師は、生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。   | B      | B  | ・教員は、生徒の個に応じた指導などの工夫によるわかる授業に努めており、保護者からの本校の学力向上の取り組みについての評価も4ポイント以上高くなったが、未だ生徒の学力向上には課題があり、さらなる授業改善が必要である。生徒の学力を向上させている教科もあり、研修による学校全体での向上を進めていきたい。<br>・生徒の、規律ある授業態度についての評価は高く、教員の認識も同様であり、落ち着いた態度で学習に取り組めている。<br>・生徒の、家庭学習への取り組みについての評価は、前年度より3ポイント以上高くなったが、以前としてアンケートの中で最も低いものであり、大きな課題となっている。1年生の「自主学習ノート」の実施に加え、3学期からは1,2年生についてはタブレットを毎日持ち帰らせて、その活用を促している。 | ・生徒・保護者・教職員アンケートからも高い評価を得られていることは、教職員が学習指導の工夫やわかる授業等を継続的にを行っている結果である。<br>・教師の授業力の差が影響する項目でもある。<br>・タブレット端末を活用した授業実践の研究は、引き続き検討が必要である。<br>・家庭学習の評価についてはさらなる精査が必要である。<br>・アンケートの質問内容や分析の仕方の検討も必要では。(例、家庭学習の習慣は、入学時からのその学年の変容を分析することで、学年が上がるほど、定着率が高くなっていくと思われる。 |
|        | 7  | 生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。                 | A      | A  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | 8  | 生徒は、基礎的基本的な学力を身につけている。               | B      | B  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | 9  | 生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。                 | C      | C  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | 10 | 生徒は、英語活動をととして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。 | B      | B  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 規律ある態度 | 11 | 生徒は、進んであいさつをしている。                    | A      | A  | ・規律ある態度に関しては、教員は連携して生徒の指導に取り組み、教職員、生徒及び保護者による自己評価においても高い結果が出ている。<br>・前年度より評価が低くなった項目もあり、今後も「凡事徹底」を合い言葉として、生徒の良さを認めつつ、気を引き締めて指導にあたり、自律できる生徒を育てていきたい。                                                                                                                                                                                                             | ・先生方の指導と保護者も連携し、生徒も意識して規律ある学校生活を送っている。3年生は、最高学年として高い意識を持って行動していることは素晴らしい。<br>・1年生は落ち着きのなさが学校評価(生徒)からも明確になっている。<br>・部活動については、教師に指導力に差があり、またその指導等にも課題を感じる。                                                                                                      |
|        | 12 | 生徒は、場に応じた言葉遣いができている。                 | A      | A  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | 13 | 生徒は、時間を守って生活している。                    | A      | A  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | 14 | 生徒は、きまりを守って生活している。                   | A      | A  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | 15 | 教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。              | A      | A  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 健康・体力  | 16 | 学校は、生徒の体力を高めている。                     | A      | A  | ・記録的な猛暑の影響を受けて、6月下旬～10月上旬において、体育の授業や運動部活動について、熱中症予防のために、十分に活動を行うことができない日が多かった。生徒の健康、安全面に配慮しつつ、生徒の運動の機会の確保に努めたい。<br>・校内の「歯磨きタイム」が定着しう歯の発症率が低下した。<br>・スマートフォンの過度の使用による睡眠障害等については今後の課題となりうる。                                                                                                                                                                       | ・熱中症はどここの学校でも問題である。熱中症予防を考えると、体育や部活のあり方を考えないといけない。熱中症にさせないことが重要である。体育館の冷房設置の実現を待つかないと思う。<br>・スマートフォンの過度な利用やトラブルなど、家庭での教育の格差も感じる。どここの学校でも同様に悩んでいるが使用方法等も含め保護者との連携が必要である。                                                                                       |
|        | 17 | 生徒は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。              | A      | A  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
|        | 18 | 生徒は、健康を意識した生活をしている。                  | A      | A  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 地域との連携 | 19 | 学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。        | A      | A  | ・保護者に対して、学校だよりをはじめとした各種たよりを発行した。また、ICTの活用による、たよりのデジタル配信や行事のYouTubeによる限定公開が定着した。今後は、ホームページを整備して地域等に対しての発信を高める工夫を考えたい。<br>・生徒の地域でのボランティアや発表会等への参加については、地域清掃に多くの生徒が参加できた。また、おおぞら学級や吹奏楽部による地域イベントへの参加も行われた。<br>・教員の、PTA活動への参加については、参加が一部の教員に留まり積極性に欠けていたと評価する者もいた。                                                                                                  | ・保護者への発信についてICTを活用して、学校からよく発信しており、保護者も学校の様子等をよく把握できている。地域地域への発信について小学校は学校だよりが地域に回覧されるが、中学校はそうした取り組みがなく、地域に情報発信に課題がある。<br>・試行的に始まった部活動の地域移行に、どの程度の生徒が参加しているか、また学校とどう連携しているのかの実態把握が必要。                                                                          |
|        | 20 | 学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。        | B      | B  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                               |